

学校法人山陽学園
山陽学園短期大学
機関別評価結果

平成23年3月24日
財団法人短期大学基準協会

山陽学園短期大学の概要

設置者	学校法人 山陽学園
理事長名	梶谷 陽一
学長名	赤木 忠厚
ALO	小野 和夫
開設年月日	昭和44年4月1日
所在地	岡山県岡山市中区平井1-14-1

設置学科及び入学定員(募集停止を除く)

学科	専攻	入学定員
食物栄養学科		80
幼児教育学科		100
	合計	180

専攻科及び入学定員(募集停止を除く)

なし

通信教育及び入学定員(募集停止を除く)

なし

機関別評価結果

山陽学園短期大学は、本協会が定める短期大学評価基準を満たしていることから、平成 23 年 3 月 24 日付で適格と認める。

機関別評価結果の事由

1. 総評

平成 21 年 6 月 19 日付で当該短期大学からの申請を受け、本協会は第三者評価を行ったところであるが、評価の結果、当該短期大学は、自らの掲げる教育理念の実現及び教育目標の達成に向けて順調に進捗しており、本協会が定める短期大学評価基準を満たしていると判断した。

上記の判断に至った事由は、おおよそ次のとおりである。

建学以来、建学の精神・教育の理念「愛と奉仕」を貫き、教育目的・目標を全学及び学科別に確立し、内外に示し、教職員及び学生に理解される努力をしている。また、これを実現するために、工夫された教養教育と各学科の特性に応じた専門教育、免許・資格取得に配慮した教育課程を編成し、それらの授業内容・教育方法の改善にも取り組んでいる。

教員組織及び校地面積、校舎面積ともに短期大学設置基準を満たし、講義室やパソコン教室等、授業用機器備品も適切に整備されている。図書館は適切に整備され、図書選定・廃棄システムも確立し、司書等の人的環境も整えられ、学内外に向けて活発な活動を行っている。

単位認定状況、学生満足度への配慮、退学・休学・留年の実態とケア、資格取得状況、専門就職率から、授業運営が誠実に実施され教育目的・目標達成の効果をあげていることがうかがえる。

入学に関する支援は入学案内等の配布、問合せ対応、入学前情報提供、オリエンテーション等で適切に実施されている。学習支援はガイダンス、基礎学力向上授業や補習授業、相談・助言等で組織的に行われており、学生生活支援・就職支援と合わせて総合的に学生支援体制が整備されている。

教員の研究活動は、成果をあげている教員もあり、継続的な研究活動が行われている。研究成果発表の機会、機器・備品、研究室、研修日が設けられ、研究活動活性化の条件は整備されている。

社会的活動は、社会サービスセンターを組織し、公開講座、正規授業の開放、行政等との交流に取り組み、また、ボランティア活動も推進している。留学生の受け入れや派遣、国際会議出席の教員もあり、努力している。

寄附行為に基づき、理事会、評議員会は管理運営体制が確立し、教授会規程、各種規程に基づき、教授会等の運営体制も確立している。事務は組織及び諸規程が整備され、業務執行は適切で、スタッフ・ディベロップメント（SD）活動も推進され、人事

管理も適切に実施されている。

財務運営は、年度事業計画及び予算を短期大学関係者、評議員会、理事会の適切な関与の下に決定し適切に執行され、財務・経理・出納の各業務は必要な承認手続きに従い、適切かつ円滑に行われている。財務内容は、短期大学部門・学校法人とも消費収支で支出超過が続いているが、この状況を十分に把握しており、「中期計画（財務）」の下に数々の改革が実施され、平成 22 年度短期大学入学定員充足率は向上している。

自己点検・評価については、平成 13 年度より自己評価委員会を組織して、平成 15・19 年度に報告書を公開している。

2. 三つの意見

本協会の評価のねらいは、短期大学教育の継続的な質の保証を図り、加えて短期大学の主体的な改革・改善を支援して、短期大学教育の向上・充実に資することにある。そのために、本協会の評価は、短期大学評価基準に基づく評価、すなわち基準評価的な性格に加え、短期大学の個性を尊重し、短期大学教育の向上・充実に資する評価、すなわち達成度評価的な性格を有する。前述の「機関別評価結果」や後述の「領域別評価結果」は短期大学評価基準に従って判定されるが、その判定とは別に、当該短期大学の個性を尊重し、短期大学教育の向上・充実に資する観点から、本協会は以下の見解を持つ。

(1) 特に優れた試みと評価できる事項

高等教育機関として短期大学が有すべき水準に照らしたとき、本協会は、当該短期大学の取り組みのうち、以下に示す事項については優れた成果をあげている試みや特に特長的な試みと考える。

評価領域Ⅰ 建学の精神・教育理念、教育目的・教育目標

- 平成 19 年度より、学校法人主催の中学校・高等学校・大学を含めた全教職員合同研修会を毎年開催し、建学の精神である「愛と奉仕」の共通理解と実践に努めている。

評価領域Ⅱ 教育の内容

- 併設大学との単位互換制度によって、多様な授業の履修が可能となっている。
- インターンシップの単位化や子育て支援実践演習の科目を開設して、学生の職業観の確立や就業力育成への取り組みがされている。

評価領域Ⅳ 教育目標の達成度と教育の効果

- 幼児教育学科の学生に対し、挨拶や言葉使いなどのマナーの向上のために、キャリアセンターの支援で「秘書技能検定」受験対策を行い、就職後の幼稚園・保育所から評価を得ている。

評価領域V 学生支援

- 学生支援推進プログラム（GP）の採択・活用により、キャリアサポートラボを設置し、総合的な就職支援のネットワーク化を図り、就職支援を行っている。
- 課外活動とスポーツの振興を図るために文化賞とスポーツ賞を、教育理念にそった学業優秀者には上代皓三賞を設け、学生を表彰する制度がある。

評価領域VII 社会的活動

- ボランティア活動の充実のため「子育て支援実践実習」を開設・単位化して、「こっこスクール」、「親子ふれあい広場」などの活動を実践している。

評価領域VIII 管理運営

- 平成 21 年度より、方針の立案や新しい取り組みのために学長直属の企画室が設置され、五つのプロジェクト（外部資金獲得、学生支援、初年次教育、地域活性化事業、入口）活動が展開している。

（2）向上・充実のための課題

本協会は、以下に示す課題などについて改善がされれば、当該短期大学の教育研究活動などの更なる向上・充実が期待できると考える。なお、本欄の記載事項は、各評価領域（合・否）と連動するものではないことにご留意願いたい。

評価領域VI 研究

- 科学研究費補助金等の外部資金獲得に向けての努力が求められる。
- 週 1 日の研修日があるものの、校務多忙、実習巡回指導等のため十分に確保できない現状があり、授業、校務、研究のバランスを取っていくことが課題である。

評価領域IX 財務

- 余裕資金はあるものの短期大学部門及び学校法人の収支バランスの改善が望まれる。

（3）早急に改善を要すると判断される事項

以下に示す事項は、問題・課題などが深刻であり、速やかな対応が望まれる。

なし

3. 領域別評価結果

各評価領域の評価結果(合・否)を下表に示す。また、それ以下に、当該評価領域を合又は否と判定するに至った事由を示す。

	評価領域	評価結果
評価領域Ⅰ	建学の精神・教育理念、教育目的・教育目標	合
評価領域Ⅱ	教育の内容	合
評価領域Ⅲ	教育の実施体制	合
評価領域Ⅳ	教育目標の達成度と教育の効果	合
評価領域Ⅴ	学生支援	合
評価領域Ⅵ	研究	合
評価領域Ⅶ	社会的活動	合
評価領域Ⅷ	管理運営	合
評価領域Ⅸ	財務	合
評価領域Ⅹ	改革・改善	合

評価領域Ⅰ 建学の精神・教育理念、教育目的・教育目標

建学以来一貫して、建学の精神と教育の理念を一体化した「愛と奉仕」を掲げ確立しており、ウェブサイト、入学案内や学生生活ガイド等の印刷物にも明確に示され、教職員及び学生、学外者への周知に努めている。

また、それらを具現化した全学的及び各学科の教育目的・教育目標も明確に示され、学生への周知徹底を図るとともに、自己評価委員会、ファカルティ・ディベロップメント（FD）研修会、各学科会議等において組織的な定期点検や議論を重ねることで、理解を深める努力がみられる。

評価領域Ⅱ 教育の内容

教育課程は、全学的な建学の精神・教育理念、学科ごとの教育目的・教育目標を反映したもので、短期大学として工夫された教養教育と各学科の特性に応じた専門教育から成り、免許・資格等の取得への配慮も行われており、授業形態や必修・選択のバランス、クラス規模、専任教員の配置、授業内容等、体系的に編成されている。これらの授業内容、教育方法及び評価方法等は「授業概要（シラバス）」の事前配布で学生の理解を深めている。

また、授業内容・教育方法の改善として、学生による授業評価の定期的な実施、授業参観や研修会などの取り組みを組織的に行い、努力している。

評価領域Ⅲ 教育の実施体制

教員組織は、資格と資質を有する教員を年齢構成上バランスよく整備し、また、採用・昇任も選考基準に基づいて実施している。

校地面積、校舎面積ともに短期大学設置基準を上回り、運動場や体育館も十分に用意され、講義室やパソコン教室等、授業用の機器・備品の整備状況も良好である。耐震補強、障がい者への対応は、今後の課題ではあるが、おおむね教育環境は整備されている。

図書館の蔵書数や座席数、広さや環境・整備状況等は適切であり、図書選定・廃棄システムも確立しており、また、司書等の人的な環境も整えられ、学内外に向けて活発な活動を行っている。

評価領域Ⅳ 教育目標の達成度と教育の効果

単位認定の状況、授業に対する学生満足度への配慮、退学・休学・留年等の実態及びケア体制、資格取得の状況などから、それぞれの授業が学生のために誠実に実施されており、教育目的・教育目標達成のための効果をあげていることが、専門就職の割合の高さからもうかがえる。また、卒業生の就職先への訪問を行い、卒業生の評価についての意見を聴取し、在学生への教育に役立てている。

評価領域Ⅴ 学生支援

入学に関する支援は、入学案内や学生募集要項の配布、問い合わせの対応、入学前の情報提供、入学後のオリエンテーションなどにより、受験者一般・入学志願者・受験者・合格者・入学手続者・入学者に対し適切に提供されている。また、学習支援はガイダンスの実施と印刷物の配布、基礎学力向上のための授業や補習授業の実施、相談・助言体制で組織的に行われている。学生生活支援には教職員組織が整備され、クラブ活動等へ支援体制も確立しており、キャンパス・アメニティも配慮され、奨学金などの経済的支援や健康管理やメンタルケア・カウンセリングの体制も整っている。就職支援のための組織は整備され広範な活動を実施しており、学生への情報提供や資格取得・就職試験対策なども行い、高い就職内定率を維持している。留学生と社会人の受け入れ実績はあるが、その他の多様な学生の受け入れ・支援体制の整備は遅れている現状である。

評価領域Ⅵ 研究

教員の研究活動は、全体的には活発とはいえないものの、著しい成果をあげている教員もみられ、継続的な研究活動が行われている。

研究費は十分とはいえないが助教以上に支給され、成果発表の機会、機器や備品等、研究室、研修日などが設けられ、研究活動活性化の条件は整備されている。

評価領域Ⅶ 社会的活動

地域における学術文化、教育、生涯学習等の推進をはかる目的で社会サービスセンターを組織し、公開講座の開催や正規授業の開放及び行政や文化団体等との交流活動に取り組んでいる。

社会に貢献する人材育成という観点から、学科の特色を生かしたボランティア活動などの社会的活動を推進しており、また、活発とはいえないものの留学生の受け入れや留学生の派遣、国際会議に出席する教員もあり、国際交流・協力に取り組む努力がみられる。

評価領域Ⅷ 管理運営

理事会・評議員会等の学校法人の管理運営体制は確立し、寄附行為の規定により適切に運営されている。短期大学は運営全般に学長のリーダーシップが発揮される組織づくりがされ、教育研究上の審議機関として教授会が学則によって開催・運営され、方針を具現化していくために規程に基づいて委員会等が設置・運営されている。平成21年度より、方針の立案や新しい取り組みのために学長直属の企画室が設置され、五つのプロジェクト（外部資金獲得、学生支援、初年次教育、地域活性化事業、入口）活動が展開している。また、事務は組織及び諸規程が整備され、業務執行は適切に行われており、SD活動も推進されている。

就業に関しては、勤務規則が整備されて、これが適正に運用され、法人と教職員、教員と事務職員も互いに尊重して協力できる体制もあり、健康管理や就業環境、就業時間も配慮されており、人事管理はおおむね適切に実施されている。

評価領域Ⅸ 財務

財務運営については、毎年度の事業計画及び予算を短期大学関係者、評議員会、理事会の適切な関与の下に決定し、その事業計画及び予算は適切に執行されており、財務・経理・出納の各業務は必要な承認手続きとともに適切かつ円滑に行われている。

財務内容については、短期大学部門及び学校法人全体ともに消費収支で支出超過が続いている状況にある。これは、入学定員充足率が低く、定員割れの状態にあるためであるが、この状況は十分に把握されており、平成20年度に中期計画（財務）を立案し、それに向かった数々の改革が実施されつつある。その効果で平成22年度短期大学入学定員充足率は向上した。具体的には、平成21年度のキャリアデザイン学科募集停止と併設大学の看護学部設置、学長直轄企画室設置と五つのプロジェクト起動、平成22年度の幼児教育学科定員削減など、財務の健全化が進んでいる状況である。

また、教育上の物的資源は適切に管理され、施設設備等の管理についても危機管理対策（火災・防犯等）や省資源対策について配慮されている。

評価領域Ⅹ 改革・改善

自己点検・評価については、平成 13 年度より自己評価委員会を組織して、平成 15・19 年度に報告書を公開している。また、その自己点検・評価には、多くの教職員がかかわり、その成果を改善や改革に結びつけて活用する努力がみられる。

これまでに相互評価の実施はないが、今後の実施に向けて「相互評価委員会」が組織され、実施のための検討に入るとのことであり、取り組みへの意欲がうかがわれる。